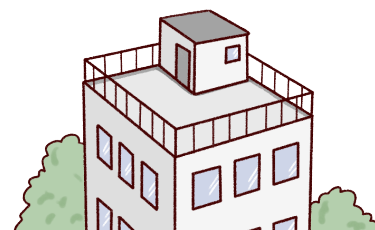




ペイントハウス(ペントハウス)

建物の屋上に突き出した階段室や、屋上につくられたエレベーターなどの機械室などのことを指します。
また、マンションの最上階に設けられたテラス付住宅などの高級住戸のことを指す場合もあります。



株式会社フォーセンス

〒330-0854
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目
398-1 アドグレイス大宮7F

TEL : 048-741-9125
FAX : 050-3537-6440

おうちがしあわせ

いま、本当に求められる住宅設備とは

住まい選びで重視されるポイントのひとつ

以前は、「最新設備」というと豪華さや目新しさが注目され、「あると便利」という感覚で選ばれることも少なくありませんでした。しかし最近重視されているのは、日々の暮らしを無理なく快適にしてくれること。特別な機能よりも、「毎日ちゃんと役に立つかどうか」が選ばれる基準になっているようです。

かつて贅沢品は欠かせない設備に

浴室暖房乾燥機や食器洗い乾燥機は、共働き世帯や子育て中の家庭を中心に高い人気があります。天候を気にせず洗濯物を乾かせたり、食後の片づけ時間を短縮できたりと、家事の負担を減らしてくれる設備は、忙しい毎日にゆとりを生み出してくれます。以前は“ぜいたく品”のイメージもありましたが、今では「暮らしに欠かせない設備」と感じる人も増えているようです。

室内環境を快適に保つための設備

床暖房や高断熱・高气密仕様などへの関心も高まっています。夏は涼しく、冬は暖かく過ごせる住まいは、快適さだけでなく省エネにもつながります。電気代の上昇が続く中、「光熱費を抑えながら快適に暮らせること」は、多くの家庭にとって大切なポイントになっています。

防災意識の高まり

近年は太陽光発電や蓄電池への注目も集まっています。停電時にも最低限の電力を確保できる安心感は、これからの住まいに求められる大切な要素のひとつです。加えて、宅配ボックスやスマートキー、スマートフォンと連携できる設備など、ライフスタイルの変化に対応した機能も広がっています。ネット通販の利用増加や防犯意識の高まりを背景に、“便利さ”と“安心”を両立する設備が支持されているのです。

住宅設備は、派手さや新しさを競う時代から、「暮らしを支える道具」へと変わりつつあります。毎日の家事を少し楽にすること、家族が快適に過ごせること、そして安心して暮らせること。
家を選ぶときは、間取りや立地だけでなく、“自分たちの暮らし方に合った設備”にも目を向けてみたいものです。



住まいる通信

発行日2026年8月1日

2026
8
月号

目次

健康ライフ	1
家づくりのワンポイント	
アドバイス	2
にほんの縁起もの	2
家を建てよう	3
住まいのヒント	3
家づくり用語集	4
おうちがしあわせ	4

健康ライフ

紫外線



紫外線の種類

UV-A

普段浴びている紫外線の約90%で、最も害が少ないと言われていたますが、大量に浴びるとシワやたるみの原因になります。

UV-B

ほとんどはオゾン層に吸収されますが、Aの100～1000倍強く、シミ、シワ、乾燥などの影響があるだけでなく、免疫力の低下、皮膚がん、白内障などの原因にもなります。

UV-C

オゾン層によりほぼ吸収されてしまいがちですが、最も危険で殺菌光線と呼ばれており、免疫力の低下や皮膚がん、白内障を引き起こす原因となります。

日焼け止めの選び方

日焼け止めクリームを選ぶ目安になるのはSPFとPAの数値です。SPF値は、UVBの防止効果、PA値は、UVAの防止効果をあらわします。日常生活で使用するものは、化粧下地をかねて、SPF15程度、PA+～PA++程度が良いでしょう。スポーツなど外で長時間過ごす場合、SPF30以上、PA+++を選びましょう。

食生活から日焼け対策

日焼け&紫外線を受けると活性酸素が活発になります。この活性酸素を抑えるために有効なのがビタミンC。また、ビタミンCはコラーゲンの合成を促進する力もあるので、普段から果物や野菜などを食べるよう心掛けましょう。

「耐震」「免震」「制震」の違いは？

現在の戸建住宅に取り入れられている地震対策は主に「耐震」「免震」「制震」の3つがありますが、この3つはどのような違いがあるのでしょうか。

〈耐震構造〉

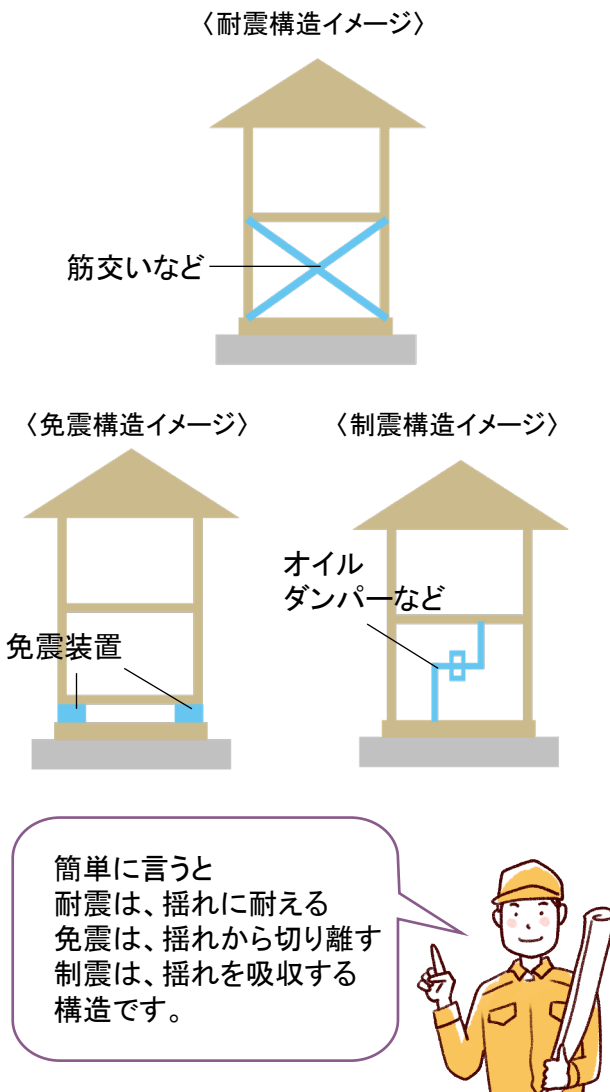
「耐震」は建物の構造部分(壁や柱・梁など)を強くして、地震の揺れに耐えられるように設計された構造です。建物に強度はありますが、振動自体は建物内にも伝わり、特に上階の揺れは増幅され、家具などの転倒が起こりやすくなります。

〈免震構造〉

「免震」は建物と基礎との間に地震の力を緩衝する装置を設けて、地震の力を建物に直接伝わらないようにする構造です。揺れ自体が小さくなり、家具の転倒等が防げますが設置や維持に大きなコストがかかります。

〈制震構造〉

「制震」は特殊な振動軽減装置などを壁や柱、屋上に設置し、建物の揺れを吸収し、建物に伝わりにくくする方法・構造です。地震の揺れ自体は小さくなりませんが、上階の揺れの増幅を抑えることができます。



にほんの縁起もの

花火

夏の夜空に打ち上げ花火。ドーンという音とともに夜空に広がる大輪がとてもキレイです。最近は夏だけの風物詩ではなく、イベントのオープニングやテーマパークなどにも使われることも多く、時期も広がりつつあります。

■花火の種類

割物

上空で開いた瞬間、玉殻が粉碎され、球状に勢い良く開く種類のこと。日本花火の代表です。

ポカ物

玉が上空に達した時、その名のとおり、ポカッと2つに割れて、中の星を放出する種類のこと。

■星☆について

花火玉の中に詰められ、開火時に花弁を作るメインの火薬のこと。みなさんが「綺麗だねー!」と言っているのはこれのこと。英語ではそのまま **star** です。

■日本の花火の特徴

- ①まんまるく(球形に)大きく空に色とりどりの花を拡げる
- ②花弁のひとつひとつの色が変わる
- ③ひとつの円ではなく花の芯のように二重三重の円(同心球)を描く



家を建てよう

vol.32 家具のレイアウト1



住まいのヒント

夏のお弁当対策

夏は食中毒や衛生面での心配が増える季節。食品が傷みやすくなるため、お弁当が傷んで食べられなかったり、食中毒を起こしてしまったりは大変です。お弁当は作ってから食べるまでの時間が長いので、調理や詰め方に細心の注意が必要です。

調理前にはしっかり手洗い

手をしっかり洗ってから調理を始めることは、食中毒予防の基本。食材や食器にさわる前はもちろん、生肉、魚介類にさわった後や料理の途中でトイレに行ったり、ゴミ箱にさわったり、おむつ交換したり、ペットに触れた後には忘れずに手を洗いましょう。

おかずのポイント

ハンバーグやから揚げ等、表面だけ見ても中まできちんと火が通っているのか分からないものは、中心までよく加熱しましょう。前日の残り物でも、もう一度火を通すとよいでしょう。また、水分の出やすい和え物やお浸し、煮物はなるべく避けましょう。

ちくわ、かまぼこ、ハム等の半加工食品や練製品は傷みやすいので注意が必要です。



お役立ち食材	
わさび	強力な抗菌作用があり、多くの食中毒菌の増殖を抑える働きがあります。
生姜	わさびほどではありませんが、抗菌作用があります。
香味野菜(しそ、みょうが、パセリ等)	薬味や付け合せに使われる香味野菜の香り成分は、多くのものが抗菌・防腐効果を持っています。
梅干し、お酢、レモン	クエン酸や酢酸など「酸」の成分が、雑菌の繁殖を抑えます。

水気を切って十分に冷ます

お弁当に水分が多いと細菌が増える原因になるので、必ず冷ましてから蓋をしましょう。おかずとご飯はできれば別々の容器に入れ、ドレッシングやソースも別容器に入れて食べる直前にかけるようにします。また、なるべく涼しい場所に保管して、長時間の持ち歩きには保冷剤を使うと効果的です。